

特別支援教育だより 5月号



令和5年 5月16日
長崎市立野母崎小学校
長崎市立野母崎中学校
特別支援教育担当

効果的なほめ方・しかり方

新学期になり、どの子どもたちもやる気に満ちあふれています。先日、実施された体育大会では、どの子どもたちもキラキラ輝いていました。今回は、そんな子供たちの「効果的なほめ方・しかり方」を紹介します

「叱り上手は、褒め上手」と言われます。子どもは、いつもしかられてばかりいると自信を失い、のびのびと行動できなくなる恐れがあります。もちろんしかることも大切です。子どもの成長を願い、効果的なほめ方・しかり方のポイントをご紹介します。

ほめるポイント

- よかった行為を具体的に
- 笑顔で短く、分かりやすく
- 達成感を得たとき、子どもが喜ぶほめかたで
(がんばりシール・ごほうびシールなど)

しかるポイント

- いけなかった行為を具体的に端的に
(くどくど言わない)
- 他の子との比較や能力のことは言わない
- 次はどうすればよいかを教える

基本的には、「しかる」よりも「ほめる」ことが子どものしつけには効果的だと言われています。しかし、どうしてもしかなければならない場面もあります。そのようなときは、しかりっぱなしにせず、最後はほめて終わるように心掛けてみましょう。

巡回相談について

子供のことで「こんなことを相談してもいいのかなあ〜。」「どんなふうに話したらよいのだろう。」など、なかなか学校に相談できない保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

そんな時、特別支援コーディネーターが教育・福祉・医療などの相談機関を紹介します。長崎市教育委員会では巡回相談が実施されており、各学校からの相談に応じて対応を行っています。保護者だけでなく、子ども自身が受けることもでき、担任やコーディネーターの相談にも応じ、来校相談・訪問（派遣）相談など柔軟に対応します。主な支援としては、専門家が授業や学校生活を観察した上で適切な支援の方法などの助言をしたりします。また、テストや・検査などによる実態把握をしてもらうこともできます。

巡回相談のご希望がある方は、まずは担任かコーディネーターまでお申し込みください。

中学生は、5月22日から30日。担任の先生と二者で教育相談を行います。新学期になり、不安なことや気になることを相談できる良い機会です。自分の気持ちを伝えてほしいです。